

# IoT 時代の情報管理とグローバルビジネスリスクについて



ここ数年、欧米では“Information Governance”という新しい文書管理の考え方が導入されています。これは訴訟を多く抱える欧米ならではの考え方で、お互いに証拠を見せ合う E デスカバリの段階で会社の持っているデータ及び文書をできるだけ少なくして訴訟費用の抑制、保管コストの削減、情報漏えいリスクの軽減に繋がるという新しいムーブメントが起きています。

一方、日本企業はこれまでの文書管理の文化である、わからなかったら「永年保管」という後回し文化で爆発的に増加した情報に対し、管理あるいは把握ができなくなりつつあります。このような手に負えなくなりつつある情報量が最終的に訴訟費用が膨大になり、保管コストが増大したり、重要な情報が点在していることが原因の情報漏えいリスクに繋がったりするなどして企業を圧迫しています。

また、ビッグデータといわれる時代となり、IoT（Internet of Things）というモノがネットに繋がりがつつある今、情報の取り扱いにはこれまで以上に気を遣う必要があり、潜在リスクは数知れません。

今回、IoT ビジネスに潜む情報漏えいリスクについて法的観点からご説明頂ける TMI 総合法律事務所の柴野弁護士と、個人情報の取り扱いのスペシャリストである、同じく TMI 総合法律事務所の白石弁護士を迎え、これからの日本企業が実務上知っておくべき対策と具体的なリスク回避方法などを解説いただきます。クロール・オントラックからは Information Governance の本場である米国の最新情報をお伝えし、米国流の文書管理方法を導入している日本企業のエッセンスを幾つか紹介します。

## □ 訴訟リスクを念頭に置いた情報管理（Information Governance）とは

スピーカー：吉岡 一真（クロール・オントラック マネージャー）

日本企業の文書管理とその課題/Information Governance とは

## □ IoT ビジネスと情報漏えいリスク

スピーカー：柴野 相雄 弁護士（TMI 総合法律事務所 パートナー）

～情報漏えい事案から考える法的リスクとその課題

## □ ビッグデータ時代の個人情報保護について

スピーカー：白石 和泰 弁護士（TMI 総合法律事務所 パートナー）

～ビッグデータ時代における個人情報保護の重要性/実務的観点からの留意点

## 日程 & 会場

日時： 2016 年 5 月 17 日（火） 13:30 ～ 16:30 開場 13:15 より

会場： ベルサール八重洲 八重洲ファーストフィナンシャルビル 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1 丁目 3-7

会費： 無料

定員： 60 名（定員となり次第、締め切らせていただきます）

## セミナーへの登録方法

セミナー参加のご登録は、以下必要事項を5月13日（金）までに、下記メールアドレスにお送りください。

必要事項：会社名、部署・役職、お名前、住所、電話番号、メールアドレス

Email: [Take.to.sakuma@krollontrack.com](mailto:Take.to.sakuma@krollontrack.com) セミナーに関するお問い合わせ：03-3509-7122（佐久間 宛）



Copyright © 2016 Kroll Ontrack Inc. All Rights Reserved.

Kroll Ontrack, Ontrack and other Kroll Ontrack brand and product names referred to herein are trademarks or registered trademarks of Kroll Ontrack Inc. and/or its parent company, Kroll Inc., in the United States and/or other countries. All other brand and product names are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

東京都千代田区内幸町 1-1-7NBF 日比谷ビル 24 階

TEL: 03-3509-7110

[www.krollontrack.co.jp](http://www.krollontrack.co.jp)